



社会医療法人  
同仁会  
Dojinkai  
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

# 同仁会報みみはら

2025年2月1日発行

第147号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2  
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL <https://www.mimihara.or.jp> (同仁会HP)

## みみはらグループ 2025年

# 新年集会



みみはらグループ 2025年 新年集会 2025.1.11 堺市立西文会館

### My Profile

- 1993 大阪ガス(株)入社 東北製造所に勤務
- 1996 神戸アートビレッジセンター(KAVC)に異動
- 1997 藤町ミュージアムスクエア(OMS)に勤務
- 2000 藤町ミュージアムスクエア(OMS)に勤務
- 2001 藤町ミュージアムスクエア(OMS)に勤務
- 2003 OMS離職後、メヒック藤町に勤務
- 2006 社会医療法人同仁会(現同仁会)に入社
- 2006 (財)関西・大阪21世紀協会に勤務
- 2010 大阪ガス(株)古巣藤町に勤務  
都市開発・地域活性化・社会貢献に取り組む
- 2014 大阪ガス(株)都市魅力研究室長に
- 2022 大阪ガスネットワーク(株)にて都市魅力研究室業務を継承
- 2024 大阪ガスネットワーク(株) エネルギー文化研究所 所長代理に



田端志郎理事長



江戸道子会長



講演する山納 洋さん



マリンバデュオ「フィトンチッド」の演奏

1月11日、堺市立西文会館にて、みみはらグループ新年集会を開催しました。職員、友の会会員など約300人が参加しました。

マリンバデュオ「フィトンチッド」の澄んだ音色がホールに響き渡り、華やかな演奏で始まりました。

みみはらグループ運営協議会議長で同仁会の田端志郎理事長の開会の挨拶では、災害や環境問題、核兵器使用禁止条約の大切さ、また事業をすすめる上で連帯の必要性を述べられ、みみはらグループとして外に目を向け、足を踏み出し進めていきますと決意を語られました。

健康友の会みみはら江戸道子会長からは、まず11月に行われた健康友の会みみはら40周年記念の集いに対する感謝を述べられました。次に昨年の能登震災復興が進まない中、万博に傾注する政治の在り方を一緒に考えていきたいと思います。

記念講演は大阪ガスネットワーク株式会社 エネルギー・文化研究所

研究員の山納 洋さんから「まちづくり、はじめの一步」というテーマで講演していただきました。

思いついたらまず形にしてみる、少人数から始めてみるなどのプロジェクトの考え方やすめ方、斬新な企画をもってプロジェクトを立ち上げ、チームで場づくりをまとめるプロデューサーの役割など「まちづくり」に取り組むうえで参考に成る講演でした。

同仁会の森高志専務理事による基調報告では、わずか3年で年3・3兆円も防衛費予算が増額される一方で、「一分断と差別」を招く診療報酬と介護報酬の改定の改善を国に求めていくとともに、みみはら2030年の

樹の残りの施設整備に向けて、経営改善を進める1年にする決意が述べられました。

「みみはら2030年の樹」の取り組みとして鳳クリニック川畑事務局長より鳳エリア建設報告があり、続いて堺区大仙西エリアの建設報告をひまわり会太田介護部長、大仙西地域コミュニティ棟事務局の虎頭さんより行いました。

続いて能登災害支援報告を同仁会柴田専務補佐と岡田さん、社保ピースセミナー参加報告を山田さん、萬代さん、井上さんが行いました。

最後に、社会福祉法人ひまわり会の岡本裕宏理事長からの挨拶で閉会しました。

### 新年集会記念講演感想

- プロジェクトとは何かをよく知らなかったので、どういう風にデザインし形にしていき、広げ方など講演を聞きイメージが掴めました。
- プロデュースするって、こうなったらいいなと思うことを実際に動かしてみる人のことであるなら、誰でもプロデューサーになれるやんと思いました。スタッフ一人ひとりがプロデューサーになれば職場も活性化しモチベーションも上がりそうです。
- まちづくりと聞くと、建物を造ったりということを想像していたのですが、人と人のコミュニケーションを通じてまちの輪を広げていくという話に大変興味を持ちました。
- 何故プロデューサーの話なのか違和感を感じていたのですが、新しいコミュニケーション棟が地域に開かれた場所になるということでした。